

第34号
平成24年11月2日
発行
「市民活動情報紙
なると」編集委員会

市民活動 情報紙なると

鳴門市ボランティア
連絡協議会
☎685-7170
鳴門市市民活動
支援センター
☎685-7170



全員で準備体操



さかなをつつてゴールへ

障がい者が機能の回復と体力の維持、地域社会でたくましく生きていく意欲を育てることなどを目的とした鳴門市障がい者スポーツ・レクリエーション大会が10月14日、開催されました。参加者はこれが青春だ、交通安全等の11種目の競技に出場し楽しんでいました。



継続は力なり

NPO法人快てきペンギン村
理事長 元木 照夫

NPO法人快てきペンギン村は、NPO法人になる前から数えて今年で17年目になります。継続は力なりで、第一土曜日、内の海新鮮市や第四土曜日、北泊新港での快てきペンギン村朝市には、早くからたくさんのお客様が来てくださり、行列をつくって待っていてくれます。17年間新鮮な魚を出来るだけ安価で販売してきたからだと思います。

年に5回行う「旬の魚のさばき方教室」も今年で5年目、毎回30名ほどの参加者が熱心に魚のさばき方を勉強し、2回目、3回目と参加回数が増えた生徒さんは、びっくりするぐらい上手に魚をさばけるようになって帰られます。また、昨年は8月、今年は7月に「親子魚のさばき方教室」を行い、小学生のちびっ子もたくさん参加してくれました。最初は、おっかなびっくりでなかなか魚に触れなかった子も、お父さんやお母さんに助けてもらいながら、さばけていました。なかには、お父さんやお母さんよりも上手にさばける子がいてびっくりしました。

最近、学校給食や病院、介護施設の食事に骨なし魚の需要がだんだん増えています。一度開いて骨をすべて取ってから特殊な接着剤でくっつけた魚ですが、骨がないから食べやすいのだそうです。でも家庭においては、骨なし魚やスーパーのお刺身パックを買うのではなく、ちゃんとした魚を買って、お家でさばいて食べてもらえたらいいなと思います。

これからも快てきペンギン村はそのお手伝いをしていきたいと思っています。



親子魚のさばき方教室

子ども体験活動「親子でお米を育てよう！」

NPO法人「ふくろうの森」

『いねかりをするのは初めてだった。切れ味がよくておもしろかったけど、手がいたくなって大変だった。いねかりをする人はすごいなあと思った。』(小5・女子)

これは10月の稲刈りに参加した子どもの感想である。毎年、子ども体験活動の1つとして、大麻町の田んぼで、小学生やその保護者を対象に田植えと稲刈りをしている。最近は、家族揃っての参加が増え、学生ボランティアやスタッフも含めると、今年は総勢70名ほどになった。

『(田植えの時)田んぼに入って、最初はぬめぬめして気持ち悪かったけど、なれると気持ちよかった。土はなぜかあったかかった。』(小4・女子)

6月の田植えでは、ドロドロの土に足を取られながら、一列になって田植えをした。初めは、植えた苗が倒れたり、苗を1ヶ所にたくさん植えすぎたりもしたけど、最後にはコツをつかみ、きれいに植えられるようになった。田植えの後、田んぼを見ながら、「早くお米が食べたいな」と話す声があちこちで聞かれた。

暑い夏が過ぎ、4ヶ月後の10月。かまの使い方に苦戦しながら稲刈りをした。6月にはまだ薄緑色の草のようだった苗が、今では片手でつかみ切れない程に生長し、いっぱい稲穂を付けていた。

「ふくろうの森」文学教室②

「くすのきしげのり 新作を語る！」

— 『泥かぶら』『メガネをかけたら』

『ライジング父サン』—

鳴門市在住の児童文学作家 くすのきしげのりさんの新作にまつわるお話です。

貴重なこの機会をどうぞお見逃しなく！

日時 12月13日(木) 10時~11時

場所 鳴門市立図書館2F 視聴覚室

対象 一般

定員 50名

費用 100円(当日集金)

申込受付 11月6日(火)~先着順

問い合わせ&申込先

NPO法人「ふくろうの森」

TEL&FAX088-685-0389

田んぼでの田植えや稲刈りのほか、今年はバケツ稲の栽培に子どもやボランティア約10名が挑戦。稲刈りの日、各自育てたバケツ稲を刈り取って持ち寄り、脱穀ともみすりをした。脱穀には昔の道具の「千歯」が登場。千歯からパラパラともみ米が落ちるたび、「うわあ〜！」と歓声が上がった。その後、すり鉢とすりこぎでもみすりをして玄米にした。こぼれたお米を両手でかき集める子どもたちの姿が心に残った。

稲刈りの後、先に収穫した新米でおにぎりを作って、みんなで食べた。新米は甘くて本当においしかった。お米を食べる国に生まれてよかった。

昔からずっと食べ続けられてきたお米。米作りや収穫に、昔のやり方や道具を取り入れ体験する中で、農家の方からお話も聞いた。いろいろな工夫と苦労を重ね、育てられたお米を今、私たちはいただいていることに心から感謝したい。



自分で育てたバケツ稲を千歯で脱穀したよ

声の広報制作グループはまぼう

四国労働金庫助成金交付

平成24年9月20日、四国労働金庫徳島営業本部で「助成金」の目録贈呈式が行われ、鳴門市ボランティア連絡協議会加入の「声の広報制作グループはまぼう」が受賞しました。

視覚障がい者の方達へ声の広報のCD版制作のための器機購入に非常に役立っています。

「第2回全国聴覚障がい者連のつどい」を終えて

すだち連 連長 戎 伸治

障がい者の「完全参加と平等」の実現をめざして「すだち連」が1980年に結成され、1981年8月10日に鳴門市の阿波踊りに参加して以来、今年で32回目の夏を迎えました。

すだち連は、毎年5月の連休が明けると毎週土曜日の夜7時から2時間8月の本場に向かって練習を始めます。

又、毎年障がい者や高齢者の福祉施設を訪問し、施設利用者の方々と共に阿波踊りを楽しむ機会を持ってきています。



全国聴覚障がい者連のつどい

昨年の夏には「すだち連創立30周年記念事業」として、東京や大阪から聴覚障がい者連を鳴門に招いて「全国聴覚障がい者連」を2012年8月11日に結成させていただきました。

今年は、「全国聴覚障がい者連」として鳴門市の阿波踊りに参加したいと大阪の「美手楽連」と淡路島の「デフ・あわじ連」から申し出があり、「第2回全国聴覚障がい者連のつどい」を8月11日に開催し、すだち連43名、美手楽連15名、デフ・あわじ連9名合わせて総勢67名で「全国聴覚障がい者連」として鳴門市の阿波踊りに参加をいたしました。参加された県外の方々は、鳴門市の阿波踊りを心ゆくまで楽しんで下さいました。

私達すだち連は、今後とも県内外の障がい者の方々が鳴門市の阿波踊りに喜んで参加出来るよう支援を続けてまいりたいと考えております。

今後とも関係者の方々の御支援と御協力をお願いいたします。

ボランティア募集

EMダンゴ投入・カヤの刈り取り

日時 11月18日(日)
10:00~
場所 新池川広場 鳴門警察西側
行事 EMダンゴ投入(各指定場所)
カヤの刈り取り
焼き芋、ポップコーン、ポン菓子
(新池川広場)

新池川清掃

日時 12月24日(月・祝)
10:00~
場所 撫養橋~石越橋
問合せ先 新池をきれいにする会
☎090-3181-1402(乾)

助成金情報

平成25年度(第12回)環境NPO助成

◇応募資格

1. 特定非営利活動促進法第10条の規定にもとづき設立された国内の法人
2. 環境分野での実践活動実績を有する国内の任意団体
3. 財団法人、社団法人等、上記(1)、(2)に該当しない法人は応募できない

◇対象となる活動

1. 環境と経済との統合に資する活動(循環型経済社会実現への取り組みなど)
2. 環境問題の解決に資する科学・技術的活動(自然エネルギーの活用、環境に有効な科学技術の検討など)

◇助成金額 1件あたり150万円を限度

◇締切日 平成25年1月18日(金)
(当日消印有効)

◇問合せ先

公益財団法人 日立環境財団
☎03-3257-0851

桑島地区自治振興会の活動と課題

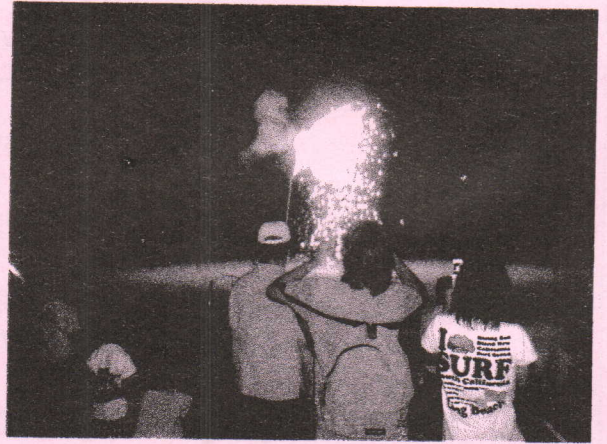
桑島地区自治振興会 会長 岩本 憲治

定例会を年10回、毎月1日(12月・1月を除く)に開催。自治振興会・社協・自主防災会・老人クラブ・婦人会・小学校・幼稚園等の役員・関係者が集まり行事予定・反省・その他を話し合います。

年間を通じての行事は、各自治会毎に資源ゴミの回収・防犯灯の点検・毎月交替で桑島共同墓地の管理(8月に一斉清掃をします)・各地に有る小規模の公園の整備・ゴミの管理、整理をしております。

桑島自治振興会単独行事と云うよりは、行事の内容により上記の諸団体・学校と共同で開催します。今年も11月3日に敬老会を開催します。12月には独居老人慰問をします。粗大ゴミの有料回収を昨年まで年1回しましたが、量が少し減ってきたので隔年回収にすることにしました。

小学校行事には、子どもの見守り隊を結成して児童の登下校時の安全を確保し、夏休み最終土曜日にPTAと共催で花火大会を開催し地区の人々も多数楽しんでます。運動会にも玉入れ・宝つりと一般の人々も参加し、自主防災会が「防災訓練」と云う種目の中でヘルメットをかぶり消火器を繰るゲーム感覚での防災意識の向上にも寄与しています。



桑島小学校花火大会

学校の近くの与三佐谷公園の整備にも力を注いでおります。以前は人の背丈より高い草が生い茂り(竹の一種かも)人が近寄れない様になっていたのを桜を植えて草を刈り、憩いの場となる公園にしました。今年は桜がきれいに咲きました。この公園は災害時小学校・幼稚園の避難路に指定されているので整備は怠ることができません。

その他にもグランド・ゴルフ大会開催・交通安全キャンペーン参加・防災訓練等もしておりますが、今後はもっと地域に溶け込んだ行事も考えて実施したいと思っております。

今後の課題としては、年代間に自治会に対する考え方に少し違いがあるように思われます。特に塩田を埋めて新しい土地に出来たマンション・アパートの住人は若い人が多いので協力度が低いように思われます。今後こうした若い人の意見を自治会活動に取り入れて協力しやすい場を造る事が重要な課題であると思います。

お知らせ

平成24年2月5日に「新池川をきれいにする会」が主催した“しだれ桜100本を植えよう”に参加した人はしだれ桜を見に来てください。枯れている人は植えなおしていただきます。

日時 12月24日(月・祝)
10:00~

場所 新池川 鳴門警察西側

新池川をきれいにする会

☎090-3181-1402(乾)

鳴門市市民活動支援センター

鳴門市撫養町南浜字東浜30-9

老人福祉センター1階

開館日 月~金曜日 13:00~18:00

休館日 土・日・祝祭日・年末年始

☎088-685-7170

(鳴門市社会福祉協議会内)

FAX 088-686-4059

naruto.npo.shien@gmail.com